

図書館部報

岡崎市現職研修委員会
学校図書館部
令和2年5月25日
No. 1

「作品の心を受け取る」読書

岡崎市現職研修委員会学校図書館部
部長 美合小学校長 大西裕子

読書指導に継続的に取り組んでいる学校に勤務していた頃、作家に会える機会が幾度かありました。「あらしのよるに」の木村裕一氏、「ニャーゴ」や「おまえうまそうだな」の宮西達也氏、「シノダ」「ホオズキ医院」シリーズの富安陽子氏、「だじゃれ世界一周」等の長谷川義史氏…次々名前が浮かびます。子供のように嬉々として、先生たちや保護者の皆様と、列をなしてサインをしてもらった本が、今も宝物として家に多数あります。

そういった作家たち書き手の話を聞くのは大変興味深かったです。紙袋のお面をかぶって登場した人、ウクレレ片手に即興で墨絵を描いた人などパフォーマンスも独特でした。それでも、何本も原稿依頼を受けアイデアが出なかった苦労話や、お告げのように夢にストーリーが降りてきた話など、聴衆から笑いが起こった、たわいもない話が記憶に残っています。またそれらの作家たちが、皆共通して「書き手は、読み手に自由な解釈で受け取ってもらえばいいのです」などと話しておられたのも、心に深く残っています。

研究授業をしていた頃、張り切って椋鳩十の「大造じいさんとがん」、新美南吉「ごんぎつね」や宮沢賢治を教材にしたことがあります。当時は大真面目に、「作者が読み手に伝えたかった主題は何か」といった課題で話し合ったり、読書指導の一環として、賢治や鳩十の本を多数読ませた上で「作品に通じる共通点は何か」という話し合い活動を展開したりしていました。今思うと複雑ですが、昔はこれで深められたとっていました。

ところが、今は例えば6年「海のいのち」の扉を見ると、「物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考える」という言葉があります。作者の考えを読むのではないのです。自分が、その作品から何を受け取るかなのです。元筑波大附属小の二瓶弘行氏も様々な本や講演で「作品の心を受け取る」と強調しています。今回の新学習指導要領改訂に関わる答申には、「～広い視野を持ち、理想を実現しようとする高い志や意欲を持って、主体的に学びに向かい、必要な情報を判断し、自ら知識を深めて個性や能力を伸ばし、人生を切り拓いていく…」「対話や議論を通じて、自分の考えを根拠として伝えると共に、他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めたり、集団としての考えを発展させたり～」という文言があります。主題は自分自身の読みの中で考えるもの、そして対話や議論を通じてさらに思いを広げる。これが深い読み、深い学びにつながるということなのでしょう。国語科解説の系統表に「考えの形成」「共有」という項目が設けられているのも頷けます。

今年度の学校図書館部の目標にも「読書意欲の高揚・習慣化」「主体的・対話的で深い学びの実現…」という言葉があります。自ら本を手に取り他と思いを共有する、積極的に図書館を活用する、そんな子供の姿を目指した実践が多く報告されることを期待します。

令和2年度 学校図書館部 研究主題・重点目標

豊かな心情を培い、主体的に学ぶ力を育てる

(1) 「読書の楽しさを知り、進んで読む態度を育てる」

- ・読書に対する興味を誘発する手だてを工夫し、読書意欲の高揚を図る。
- ・読書の機会を意図的に設けて、その習慣化を図る。

(2) 「情報・メディアを活用する能力と自ら学ぶ意欲を育てる」

- ・読書・メディアを正しく活用する方法を身に付けさせるために、年間指導計画に基づき、学校図書館の利用指導を進める。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、情報・メディアを積極的に活用した教育活動の展開を図る。
- ・学ぶ意欲を喚起する資料の整備・充実を図る。



学校の図書活動

「南中図書室の神様」

南中図書室にはスーパー補助さんがいます。授業で扱っている教材に関係する本、巷で話題になっているものを調べるのもってこいの本を手に取りやすい状態で紹介し、図書に関するどんな質問にも答えてくれます。この本読みたい！と思う本がたくさん入っています。月2回の昼の放送で、自ら選んだ本の読み聞かせを行うと生徒は絵本の世界を想像しながら給食を食べています。

(南中 小栗恵美子)



図書館部紹介

部長	大西 裕子	(美合小)
	清松 治子	(矢作東小)
指導員	豊永 晶子	(岩津中)
世話係	松本 友子	(大樹寺小)
	福永 えりな	(根石小)
	奥出 礼	(美合小)
	白形 奈穂	(北 中)
	神尾 有香	(東海中)
	石川 俊之	(翔南中)

2020年 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書を紹介

<小学校低学年>

「山のちようじょうの木のてっぺん」	作：最上 一平	絵：有田 奈央	(新日本出版社)
「おれ、よびだしになる」	作：中川ひろたか	絵：石川えりこ	(アリス館)
「タヌキのきょうしつ」	作：山下 明生	絵：長谷川義史	(あかね書房)
「ながーい5ふん みじかい5ふん」	文：リズ・ガートン・スキャンロン オードリー・ヴァーニック 絵：オリヴィエ・タレック	訳：木坂 涼	(光村教育図書)

<小学校中学年>

「青いあいつがやってきた!？」	作：松井 ラフ	絵：大野 八生	(文研出版)
「ねこと王さま」	作・絵：ニック・シャラット	訳：市田 泉	(徳間書店)
「ポリぶくろ、1まい、すてた」	文：ミランダ・ポール	絵：エリザベス・ズーノン	(さ・え・ら書房)
「北極と南極の「へえ～」くらべてわかる地球のこと」	写真・文：中山 由美		(学研プラス)

<小学校高学年>

「ヒロシマ 消えたかぞく」	著：指田 和	写真：鈴木 六郎	(ポプラ社)
「月と珊瑚」	著：上篠さなえ		(講談社)
「飛ぶための百歩」	作：ジュゼッペ・フェスタ	訳：杉本 あり	(岩崎書店)
「風を切って走りたい!：夢をかなえるバリアフリー自転車」	著：高橋うらら		(金の星社)

<中学校>

「天使のにもつ」	著：いとうみく	絵：丹下 京子	(童心社)
「11番目の取引」	作：アリッサ・ホリングスワース	訳：もりうちすみこ	(鈴木出版)
「平和のバトン：広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶」	著：弓狩 匡純		(くもん出版)